

笑顔

第14回
YOSAKOI
させぼ祭り
10/21~23

ニッポンへ鳴り響け!



NNP



あっぱれ青組



海上自衛隊倉島岸壁会場(佐世保よかよかっちょる隊・佐世保市)



ハウステンボス会場(長崎大学「突風」・長崎市)



中央公園通り会場(永代ハウスと笑築過激団・佐世保市)



山県会場(一喜一遊・佐世保市)



ちによる毎年恒例の総踊り。興奮が最高潮に達する中、今回の祭り開催中に作成された、東日本大震災の被災地応援メッセージの「寄せ書き旗」が、仙台市の「みちのくYOSAKOIまつり実行委員会」のスタッフに贈られ、祭りの幕が閉じられました。

東日本大震災の被災地に笑顔と元気を届ける祭りには、いい。ことしのテーマには、そんな思いが込められました。いつもと違う意味合いも持つことになった今回の祭りには、過去最多となる166チーム、約7千人の踊り子たちが全国から参加。10月21日から3日間、市内14会場で魂のこもった力強い演舞を披露してくれました。

名切お祭り広場会場のファイナルステージが始まったのは23日の夕方。多くの観客が集まり、予選を勝ち抜いた22チームがそれぞれに精一杯の演舞を披露。審査の結果、大賞は冬の玄界灘で果敢に漁に挑む漁師を表現した「NNP」(佐賀県唐津市)が初めて獲得。準大賞は、第1回から出場を続ける地元の「あっぱれ青組」(佐世保市)と、敗者復活戦を勝ち上がったきた長崎大学「突風」(長崎市)が受賞しました。

祭りの最後を飾ったのは、ステージに上がりきれないほど詰めかけた大勢の踊り子たち